

# 安全センター

[発行]

尼崎労働者安全衛生センター

[連絡先]

〒660-0802

尼崎市長洲中通 1-7-6

TEL・FAX 06-4950-6653

尼崎安全センター

定例交流会

「コロナ禍の

安全衛生活動」

日付 2021年3月25日(木)

時間 午後6時～7時半

場所 安全センター事務所

二〇一・一・三・一一から早や二〇年

## 原発、怖くないか？

水に流すと言いますが、津波で身近な肉親の命まですべて流されてしまった人たちの喪失感は、たとえ10年経っても埋められるものではないでしょう。

その2011年3月11日 東日本大震災の余震。2月13日には福島県沖でM7・3の地震が発生し、最大震度6強を観測しています。政府の地震調査委員会によると東北地方沿岸では、「今後も規模の大きな地震が高い確率で発生する」と。だけれども福島原発は大丈夫なのかと考えます。

その福島第一原発1、3号機で、13日の地震の後、原子炉を納めた格納容器の水位の低下が進んできています。1号機では底から1m90cmほどあった水位が70cm～1mほど下がっているということです。10年前の大震災で格納容器の損傷した部分が広がった可能性があるとして東

電は発表して

います。溶け

落ちた核燃料

(デブリ)の

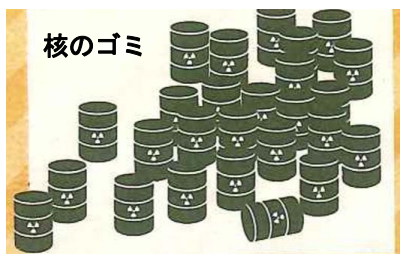
冷却ができな

くなったたら大

変です。東電

は注水量を増

やします。



この震度6弱を記録した13日

の地震を、原発では測定できません

でした。3号機の建屋の最上階5階

と1階に設置していた地震計が2台

とも故障していて測定できなかった

というのです。1階の地震計は昨年

7月に雨による水没で故障したまま

だったとのこと。どんな地震計なん

でしょうか。(1～4号機では大震

災で故障)トリチウムを含んだ汚染

処理水を保管しているタンクも、2

月の地震で動いています。

今年1月、原子力規制委員会の検

### 昨年度・尼崎 石綿含む建物解体

#### 無届け過去最高115件

尼崎市内の建物解体現場で2019年度、業者

が建材にアスベスト(石

綿)を含んでいることを

事前に市に報告していな

かった事例が、過去最高

の計115件あったこと

が分かった。いずれも周

辺への健康被害リスクの

少ない非飛散性アスベ

ストだが、県は延べ床面積

80平方メートル以上の一般の建

物解体でも、非飛散性ア

スベスト建材がある場合

は条例で事前届け出を義

務付けている。

7日にあった尼崎市と

#### 市担当者「非飛散性でも必要」

の中で、市が明らかにし

た。市環境保全課による

と大気汚染防止法では、

建物解体で建材に飛散性

のアスベストが含まれて

いる場合、自治体への届

け出を義務付けている。

しかし、非飛散性のアス

ベストについては自治体

で扱いが異なる。尼崎市

は2012年度半ば以

降、重機の使用許可申請

などを基に原則全ての解

体工事現場に職員が立ち

入り、目視でアスベスト

の有無を確認している。

市によると、高度成長

期に建てられた建物の中

心に、市内では解体工事

の件数が毎年増加。13年

度は615件だったが19

年度には995件に増

え、それに伴い非飛散性

アスベストの無届けも13

年度の62件から約1・8

倍となった。

立ち入り検査でアスベ

ストの飛散が確認された

ことはないが、市環境保

全課の鎌田裕二課長は

「県内には非飛散性のア

スベスト建材の解体でも

届け出義務があること

を、業者に周知してい

たい」と話している。

【中村清雅】

2020.12.9 毎日新聞

に感じている16%)となっていま  
す。当安全センター加盟の労働組合  
員のアンケートではどう出るでしょ  
うか。

(裏面より) くまであるため2

本くらい飲んだかもしれない。つ

まみは昼休みに小母さんたちが近

くの市場に自分の家の夜の惣菜を

買いに出るため、ついでにその日

によりソーセージやちりめんじゃ

こ、イカのてんぷらなどを買って

きてもらい、4、5人で飲んでい

た。会社を出る頃にはほろ酔い気

分になり、気の合った友達と帰り

が一緒になったときには会社の近

くの飲み屋で更に飲み、土曜日な

ど深夜に及ぶことも再々で寮の食

事が無駄になった。...

と高度成長期の尼崎の“企業

戦士”を描いている。

以上、執筆者の『20世紀と自

分史』第2部50ページ分からだ

きるだけ原文のまま抜粋した。(平

成15年、2003年10月執筆

とある。筆者の死亡は2007年)

第1部では子供の頃の戦争と集

団疎開の記憶などが描かれており、

本当に労作である。キリンビール

と隣接していた旧国鉄尼崎駅で乗

り降りした労働者の数は本当に多

かった。今の尼崎『安全センター』

の読者にとっても、きっと見逃せ

ない記録です。(完)



# あの頃の〈工都尼崎〉での 労働組合運動の 経験を知ろう ③



## 60年安保闘争に参加

「年が明け昭和35年、賃上げ交渉も例年どおり、ストをまじえて終結したが、その間、日本国中が騒然となったいわゆる60年安保闘争が始まった。

あくまで政治闘争であり、組合がこれに参加するべきか議論したが、やはり組合としても憲法で定めた戦争放棄が掲げられている以上、戦争に巻き込まれる恐れのある安保条約は日本の将来を考えると傍観するべきでないとして、革新的な知識人、学者、学生、映画

演劇人そして労働組合などが安保反対に立ち上がった。

5月19日衆議院で通過すれば1カ月後に自然成立する。19日の国会の本会議で審議、夜半に採決になり、反対の社会党議員が自民党により導入された警察官に排除され、自民党単独の強行採決で可決された。

### 学生の全学連、

### 国会突入で大乱闘

安保反対運動は日に日に盛り上がり、連日のように国会のまわりにデモ隊が押しかけた。僕達の組合も本部役員は何回か青山から赤坂を歩き、国会に向かった。ある時は麻布のアメリカ大使館にも請願デモに参加した。デモそのものは憲法で定められた行為で殆どは整然と行なわれ、街頭の人々からも声援を受けた。デモ参加者は17万人に上り、一人の検挙者も出さなかった。

6月15日もいつものように請願デモに参加、夕方国会に近づいた時、大学生で組織されている全学連が国会内に突入、投石を繰り返した。全国からきた新聞社のカメラマンが国会のフェンス際でアルミの脚立にのぼり、カメラのフラッシュをあちこちで浴びせていた。

やがてけたたましいサイレンと共に、救急車がデモ隊の間を縫う

ように構内に入っていた。何か事故だろうと話していたが、デモ解散後テレビニュースでわかったが、全学連と警官隊と大乱闘になり、東大の樺美智子さんが乱闘の犠牲者となった。「全学連7000人が国会通用門を破り構内に乱入、警察官と衝突。200人以上が負傷」というニュースが流れた。

このデモに参加した人は全国で560万人と新聞は報じている。

### 本部役員として

### 画期的な歴史に遭遇

同じ頃日本の労働組合史上最大の事件といわれ、総労働対総資本とまで言われた大牟田の三井三池炭鉱の闘争が繰り広げられ、組合の分裂を招き11月に中労委の斡旋により終結を見た。日本のエネルギー革命とまで言われ、その後石炭企業は急速に衰退し、石油の時代になった。…本部役員としての1年に、日本の歴史を変える画期的な事件に遭遇し、自分でもな



1970年代に撮影された「リンドール尼崎工場」の外観

2020.5.13  
神戸新聞

んとなくラッキーな気がした。

組合のイベントも終わり6月頃だったと思うが、息抜きに中執の独身仲間三人で尾瀬にテントを担いでいくことにした。その年日本で初めて缶ビール工場が東京荒川にでき、その友達が缶ビール一箱を担いできた。」

### 労組の教育宣伝部長になる

「10月やっと任期を終え尼崎に帰った。しかし、組合の方は引き続き支部役員選挙で選ばれた。

選挙は工場全組合員(当時900名位)による無記名投票で、名前が知られているだけ現役が出る可能性が大で、しかも4年間は辞めたくても特別の理由がない限り辞退できないことになっている。役員の大半は40代か30代で、20代独身といえども若年層の票が集まった。結局また支部役員に選ばれ、教宣部長をやらされた。

### 新聞づくりを学ぶ

教宣部の仕事は組合の情報を流したり組合員の教育をすることで、三役に次ぐポストで、特に組合機関紙を発行するため新聞の編集方針、特集記事などの原稿書き、原稿集め、新聞のレイアウト、見出しなど今では印刷会社がする事まで経費を節減するため、全部一人

でした。レイアウトは何を訴えたのか、見出しのつけ方、活字の大きさとか新聞を読むときの目の流れに沿った記事の流し方、囲み記事や写真の入れ方等プロに色々教わった。」

### ちよいと一杯のつもりで

### 飲んで、いつもの間じやらう

「東京から帰ってからの仕事も監視業務で、責任のある業務だがそれほど難しいわけでもなく、組合の仕事のない時はなんとなく平凡に過ごした。

終業後には、職場内で暗黙に認められていた特権でビールが飲めるのが楽しみだった。つまり最終工程で検査に通らない入り味不足の傷などの不良製品(中身は別に異常ない製品)は再度冷蔵庫で冷却し、翌日栓を抜き醸造タンクに戻して再び壘詰めすることになるが、その冷蔵庫の管理は職場に任されているため、職場の一部に限られた人間はそこで自由に飲むことができた。勿論そこには1日分の不良品が収納されるので100箱を下ることはなく、翌日朝には全部栓を抜いてタンクに戻すもので、中身はまったく製品と変わらない。

自由に飲めるといっても勿論酔っ払うほど飲むわけでもなく、せいぜい1本か、土曜日は仕事が遅く(一面の最下段に続く)